

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
3	電気工学科		工業数理基礎	1	大野 孝樹
担当者(担当クラス)					
この科目を履修するための条件や準備					
電気回路について電氣的諸量の相互関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする					
この科目のねらい 目標					
工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野における数理処理に必要な資質・能力を育成することを目指す					
具体的な指導方法					
演習を重視し、数学、物理及び化学の理論を工業の基礎的事象を処理する道具として活用出来るように指導する					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
工業数理基礎 実教 Ⅰ308			なし		
評価方法					
定期考査(年間3回) 平常点(授業態度・宿題レポート・積極性・出席状況など)などで総合的に判断					
年間授業計画					
Ⅰ. 1学期中間考査まで					
乗り物の数理					
・ 早さと速度 P. 70					
・ 電車の走行と円運動 P. 77					
→4, 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
Ⅱ. 1学期期末考査まで					
乗り物の数理					
・ 動力の伝達 P. 91					
Ⅲ. 2学期中間考査まで					
環境の数理					
・ 地球の資源 P. 100					
・ 大地と水の環境 P. 103					
Ⅳ. 2学期期末考査まで					
数値処理とグラフ					
・ 測定値の有効数字とその取り扱い方 P. 122					
・ 実験結果のグラフ化 P. 130					
Ⅴ. 学年末考査まで					
流れの数理					
・ 流れの基礎 P. 140					
・ 電気の流れ P. 149					